



積水ハウス株式会社
住生活研究所
河崎由美子 所長



積水ハウス株式会社
リフォーム事業開発室
内装・設備グループ
石川麻子 課長



積水ハウス株式会社
商品開発部 商品技術開発室
設備開発グループ
漆原 慎 主任



Q：居室空間と非居室空間の温度差に着目したのはなぜですか。

人生 100 年時代を迎える中、健康寿命が重要になってきます。当社が提供するのは住宅ですが、住宅の中には健康につながるさまざまな要素があります。中でも住宅内の居室と非居室の温度差が健康に影響を与えるということが徐々に分かってきました。オーナー様を対象にしたアンケート調査でも、暖房があればいいと思う空間として約 4 割の方が「洗面・脱衣室」と答えており、非居室空間の温度差を解消したいというニーズはこれからますます高まっていくものと考えています。(漆原氏)

Q：非居室空間の空調機器としてココタスを採用した理由について教えてください。

これまでも洗面・脱衣室のような非居室の小空間で使うことができる小型の暖房器具はありましたが冷暖房できるものではありませんでした。非居室では冬場の温度差によるヒートショックも問題ですが、夏場の暑さも大きな問題で、洗面・脱衣室ならせかくお風呂で汗を流してもすぐに汗だくになってしまう、キッチンならコンロを使うだけで暑くなってしまいます。ココタスの採用は、ココタスが冷暖房できるエアコンであったということ、そしてコンパクトなサイズで非居室の小空間でも設置がしやすいということが大きなポイントです。(漆原氏)

Q：ココタスによって私たちの暮らしはどう変わっていくのでしょうか。

赤ちゃんがいるご家族のライフスタイルを調査したところ「脱衣室、何とかならないの?」という声が多く寄せられました。というのも、冬場は洗面・脱衣室が寒いため、多くのお母さんは、赤ちゃんとお風呂から出ると、まず洗面・脱衣室の床に赤ちゃんをいったん置いて、タオルで簡単に体を拭いてから、急いで暖かいリビングに移動してそこでベビー服を着せていました。この時、赤ちゃん優先でご自身は裸のまま、気付いたらリビングのカーテンが開いていたというドキっとする話もありました。ココタスがあればこういう事態は防ぐことができますし、体温調節が一人で出来ない赤ちゃんも寒い思いをしなくて済みます。

また、当社の「トモイエ」という共働きファミリー向け住宅では、洗面・脱衣室から洗濯機を出してキッチンやサニタリー、バルコニーなどの近くにレイアウトする提案をしていますが、こちらでもココタスを採用しています。家事負担の軽減だけでなく、洗濯機がなくなりスペースが生まれた洗面・脱衣室は、身支度や美容等の場として活用できるようになります。ココタスがあるから寒い(暑い)朝の身支度も快適です。このように、家族みんなの快適をサポートできるココタスは私たちの暮らしを変える画期的な製品だと思えます。(河崎氏)

Q：リフォームでもココタスを提案されているのでしょうか。

当社には、住まいの中で多くの時間を過ごす LDK を中心とした家族の「いどころ」に絞って効率的な断熱性能の向上を図り「いつも今が快適な暮らし」を実現する「いどころ暖熱」という当社既存戸建住宅向けのパッケージプランがあり、その 1 アイテムとしてココタスを取り入れています。今まで寒かった洗面室や廊下が快適な温度に保てるとあって、リフォーム時に検討していただきやすく、とてもよい感触を得ています。(石川氏)

Q：非居室空間の温度差対策に、今後どう取り組んでいこうと考えていますか。

非居室空間の低温・温度差問題への有効策を考える上で、暖房器具を設置するだけではなく、「使い方」や「省エネ性」も重要です。せっかく暖房器具を設置しても、「もったいない」という意識から運転されないと意味がありません。ココタスはエアコンの優れた省エネ性があり、長時間使用する暖房器具としておすすめですので、運転を控えるような『我慢の省エネ』は絶対にして欲しくありません。省エネと快適さを実現するツールとして、今後もココタスを提案していきたいと思えます(漆原氏)

IT 技術の発達により、住宅における省エネ性、快適性は、「自分でスイッチを入れてください」と住まい手に託すのではなく、家が自動で見守ってくれる、そんな時代に向かっていきます。この流れの中で、非居室空間を含めた暮らしの在り方がますます重要になっていくでしょう。ココタスはリフォームにも対応しているので、非居室で温度差を感じている方は是非一度ご検討ください。(河崎氏)



洗面・脱衣室へのココタス設置例